

「令和6年度民間事業者と連携した空家活用促進事業業務委託」にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1. 案件名称

令和6年度民間事業者と連携した空家活用促進事業業務委託

2. 選定した契約締結候補者

空き家活用株式会社

3. 公募期間

令和6年1月15日から令和6年2月16日

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（順不同、敬称略）

委員氏名	役職等
小池 志保子	大阪公立大学 生活科学部 居住環境学科 教授
服部 繁一	桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 准教授 / 中小企業診断士
寺川 政司	近畿大学建築学部建築学科 地域マネジメント研究室 准教授

(2) 選定会議の開催日

- ・第1回 令和5年12月15日～令和5年12月28日（書面審議）
- ・第2回 令和6年3月13日

(3) 審査基準

評価項目	審査内容	配点
事業計画・方針	・本事業の目的等を十分に理解し、その実現に資する計画・方針が示されているか。 ・十分な専門的知識やノウハウ、企画力等を有し、本業務を効果的・効率的に行うことができる能力を有しているか。 ・具体的かつ実現性の高いスケジュールとなっているか。	20
企画内容	・具体的かつ実現可能な提案内容となっているか。 ・データ保護、漏洩、紛失リスクが考慮されたサービス設計となっているか。 ・業務運営において、個人情報漏洩しないような運用設計となっているか。 ・空き家データをクラウド上で管理・閲覧共有できるシステムは、使いやすく効率的に業務を遂行できる内容となっているか。	10
	・空き家所有者等からの様々な相談に対し、ワンストップで利活用斡旋等問題解決を図ることができるか、また、その内容について具体的に示されているか。	10
	・生野区の地域特性を把握し、計画に反映しているか。 ・生野区の地域活性化・まちの魅力向上への貢献内容が具体的に示されているか。 ・本事業目的につながるようなイベントが計画されているか。	20
実施体制	・事業を実施するのに必要かつ十分な人員配置となっているか。 ・事業実施に必要な専門性（空き家活用に関する専門知識、企画力、営業力、実践力）を有する人員を確保しているか。	20
実績	・同種の業務実施に関する豊富な実績を有しているか。 ・同種の業務実施の結果を踏まえて提案されているか。	10
経費	・事業経費見積額は、提案内容に対して適当な金額であるか。	10
合 計（委員1名あたり）		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

- ・空き家活用株式会社

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

評価項目	A社
事業計画・方針	45
企画内容	82
実施体制	44
実績	24
経費	14
合 計	209 点

5. 選定理由

- ・これまでの経験や実績を踏まえた企画提案であり、事業を推進していく実施体制が確認できる。
- ・空き家所有者等への相談に対して伴走支援していくという考え方が評価できる。

6. 附帯意見

- ・生野区の特性や特色の把握が不十分であるため、地域の特性や実情を十分に把握し利活用促進にあたっていただきたい。
- ・利活用を進めていくにあたり地域住民との距離間に不安があるため、地域とのコミュニケーションを取りながら進めて欲しい。
- ・事業経費の見積りが大まかであるため、原資が公金であることを認識いただき、適切な経費執行に努めていただきたい。